

---

## 中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

---

2008年3月28日号

©2008年2月小麦市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年2月における小麦市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

### 1 現在は干ばつが深刻、一部の地区では病虫害の発生も深刻に

冬以降、北方の冬小麦生産地では降水量が少なく、気温が高かった。現在は、華北の南部や黄淮（黄河および淮河流域）北部の2千万畝（1畝（ム一）=15分の1ヘクタール）の耕地では、冬小麦の発芽に適する土壌湿度が不足し、小麦の発芽が悪い状況が突出している。東北、華北、西北地区には、発芽に適する土壌湿度が不足している春まき向け耕地が1.5億畝あり、今後の春まきには不利な点が多い。国家洪水干害防止総指揮部の統計によると、2月23日までに全国1.66億畝の耕地が干ばつ被害を受けたとされる。また、一部の小麦生産地では、紋枯病があまねく発生し、安徽省のいくつかの県の調査では、平均罹患率が9.6～35%と、予防・治療指標に接近またはこれを超える水準に達し、病状は最近5年間における同期では最も深刻なものであり、早期の予防・治療作業が必要な状況である。

### 2 小麦輸出は減少、小麦粉輸出は大幅に増加

2008年に入り、小麦輸出量の急速な増加速度は緩み始めた。2008年1月の中国の小麦輸出量は、前年比61.72%減の6.33万トンとなった。同期の小麦輸入はなかった。小麦粉の

輸出量は30.75%増の5.19万トン、同じく輸入は9.06%増の1,462トンとなった。

### 3 国内市場への供給は十分、価格は基本的に安定

2月下旬は農民工（農村部の戸籍を持つ都市部への出稼ぎ労働者）の都市部への出稼ぎ帰参や学生の帰校などによって小麦粉需要が増加し、加工企業の稼働率がやや向上し、小麦の買入量も増加し、小麦の購入量も増加したことなどから、2月の国家最低買上価格小麦の競売成約量は1月に比べ増加した。2月20～21日、27～28日の計画競売量はともに450万トン前後で、実際の成約量はそれぞれ127.39万トンおよび159.41万トンとなり、成約率はそれぞれ28.34%および35.42%で、1月の平均成約量（81.18万トン）および平均成約率（18.17%）を上回った。2月末までの国家最低買上価格小麦の累計競売成約量は3,795.96万トンで、2006・2007年の最低買上価格小麦の買上総量の54.31%を占める。同時に、中央および地方の備蓄食糧の更新のための市場放出もあって、小麦の供給は保障され、市場価格は全体に安定している。2月の鄭州市（河南省の省都）食糧卸売市場における普通小麦（一般品質の小麦）の卸売価格は、1トン当たり1,560元前後の水準にあり、前月比0.83%安、前年同月比4.44%高となった。優良小麦の卸売価格は1,660円で安定し、前年同月比0.9%安、前年同月並みとなった。

### 4 国際市場需給はひっ迫、価格は急速に上昇

米国農務省（U S D A）の2月の予測によると、2007/08年度の全国的小麦生産量は6億359万トン、消費量は6億1,897万トンで、1,538万トンの需給ギャップが生ずるとみられており、世界の小麦は3年連続で生産量が需要量を上回ると予測され、期末在庫量は1億970万トンまで減少し、1978/79年度以降の30年間で最低の水準となると見積もられている。在庫消費比は17.72%で、1960年以来最低水準となるものとみられている。需給のひっ迫は国際小麦価格の持続的な上昇をもたらしている。2008年2月のU S D A予測では、前月の予測に比べ、期末在庫量は54.5万トンの上方修正が行われたものの、米国の期末在庫量は最近60年で最低の水準となり、国際小麦価格が大幅に上昇したことに加え、大量のファンドと投機資金が投入されたことが、小麦価格のさらなる高騰を後押しすることとなった。2008年2月の西北大西洋の硬紅冬麦（蛋白質含有量12%）の平均離岸価格（本船渡し価格＝F O B価格）は1トン当たり509.4ドルで、前月比21.58%高、前年同月比1.36倍高となった。春小麦の需給がさらにひっ迫し、価格上昇幅がさらに増大することから、硬紅春麦（蛋白質含有量14%）のF O B価格は822.8ドルで、前月比65.64%高、前年同月比2.71倍高となった。

先物相場では、2月のカンザス先物取引所における硬紅冬麦の平均先物価格は1トン当たり403.42ドルで前月比14.94%高、前年同月比では1.22倍高となった。ミネアポリス先物取引所における硬紅春麦の平均先物価格は同634.99ドルで、前月比51.01%高、前年同月比2.43倍高となった。

国際小麦価格の持続的な上昇は、米国など主要輸出国の農民の小麦栽培の積極性を刺激する。国際穀物理事会（注：国際穀物協定を構成する穀物貿易規約の運用機関で、ロンドンに所在）の予測によると、2008/09年度の世界の小麦は種面積は小幅ながら増加し、生産量は史上最高記録を更新する水準まで増加すると見積もられている。世界の小麦は種面積は2.6%増の2.2億ヘクタールに達し、天候が正常な場合、生産量は4,200万トン増（7%増）の6.46億トンと見積もられている。世界の小麦生産量の増加は、需給ギャップを緩める方向に作用し、小麦価格の上昇速度は一定程度抑制されることが期待されている。

2008年2月は国際価格が引き続き上昇し、国内価格が基本的に安定的であることから、小麦の内外価格はさらに拡大した。関税、増値税および港湾諸経費などを含め総合的に考慮すると、2月の米国メキシコ湾における硬紅冬麦（蛋白質含有量12%）の通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は、同月の国内優良小麦の消費地における卸売価格に比べ2千元以上高く、その価格差は前月よりも拡大した。